

京都都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像1 人と公共交通優先の歩いて楽しいまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	計画	○実施	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
1	「既存公共交通の取組(既存公共交通の利便性向上)」	公共交通利便性向上施策	洛西地域におけるバス・利便性の向上	洛西地域を運行するバス・鉄道事業者のバスダイヤ、系統、乗場、案内表示の一元的な直しを図り、地域の公共交通の利便性向上させ、他の地域の事業者の連携モデルとします。	■実施済み又は本格実施中	□実施前最終段階	○公共交通利用促進策(西京区民ふれあいまつりでのバス設置、バス乗車体験等)の実施	○公共交通利用促進策(洛西さらまつりでのバス設置、バス乗車体験等)の実施	○公共交通利用促進策(洛西さらまつりでのバス設置、バス乗車体験等)の実施	○公共交通利用促進策(洛西さらまつりでのバス設置、バス乗車体験等)の実施
2	「既存公共交通の取組(既存公共交通の利便性向上)」	公共交通利便性向上施策	京都駅南口	京都都市内最大のターミナルである京都駅の南口駅前広場を、「使いやすさ」「やさしさ」「美しさ」「おもてなし」「暖かさ」を実感できる駅前広場としてリニューアルします。	■実施済み又は本格実施中	□企画構想段階	○各施設の規模・形状の検討	○各施設の規模・形状の検討	○各施設の規模・形状の検討	○各施設の規模・形状の検討
3	「既存公共交通の取組(既存公共交通の利便性向上)」	公共交通利便性向上施策	市内共通乗車券の販売	鉄道・バス事業者のネットワークを最大限に生かし、市内の電車・バスが乗り降り自由となる、使い勝手の良い乗車券(京都フリーバス)を創設します。	■実施済み又は本格実施中	□実施前最終段階	○公共交通利用促進策(西京区民ふれあいまつりでのバス設置、バス乗車体験等)の実施	○公共交通利用促進策(西京区民ふれあいまつりでのバス設置、バス乗車体験等)の実施	○公共交通利用促進策(西京区民ふれあいまつりでのバス設置、バス乗車体験等)の実施	○公共交通利用促進策(西京区民ふれあいまつりでのバス設置、バス乗車体験等)の実施

北京市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像1 人と公共交通優先の歩いて楽しいまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
5	1.「既存公共交通の取組(既存公共交通の利便性向上)	公共交通便利性向上施策	パークアンドライドの広域展開と観光地交通対策の実施	市内中心部及び観光地への公共交通体との連携によるパークアンドライドの広域展開と観光地交通対策の実施(に、京都府防警などに連携し、嵐山地区及び東山地区における臨時交通対策を含め)、歩行者の安全・快適性の確保と交通の円滑化を図ります。	□実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	○観光ビーコンのパークアンドライドの実施(4月) ○京うららパークアンドライドの実施(4月) ○ハッピーパークアンドライドの実施(12月) ○京都都市圏パークアンドライド連絡協議会の開催(9月) ○嵐山地区、東山地区公共交通対策研究会の開催(11月、3月) ○観光地交通対策の実施 ウチ算額(うち)国千円 工決算額(うち)国千円	○パークアンドライドの通年実施 ○嵐山地区公共交通対策研究会の開催(8月) ○東山地区公共交通対策研究会の開催(9月) ○観光地交通対策の実施 ウチ算額(うち)国千円 工決算額(うち)国千円	○パークアンドライドの通年実施 ○嵐山地区公共交通対策研究会の開催(8月) ○京都都市圏パークアンドライド連絡協議会の開催(9月) ○東山地区公共交通対策研究会の開催(9月) ○観光地交通対策の実施 24,400(2,400)(「観光地等交通対策(歩いてこそ京都市魅力満喫大作戦)の一部を充当)	22,000(0)(「観光地等交通対策(歩いてこそ京都市魅力満喫大作戦)の一部を充当)
6	1.「既存公共交通の取組(既存公共交通の利便性向上)	公共交通便利性向上施策	モテル地域において、地域住民、交通事業者、行政が連携を図りながら、ワーキンググループを設置し、アンケート調査などを通じて、生活交通の維持・公共交通不便地域のあり方を検討します。	モテル地域において、地域公共交通不便地域の対応策に関する検討	□実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	ウチ算額(うち)国千円 工決算額(うち)国千円	○対応策の実施 ウチ算額(うち)国千円 工決算額(うち)国千円	○「山幸橋」と「賀茂西河原町」の2箇所の停留所を増設(4月) ○「もくもく号」の利用を促進するため、「雲ヶ畑地域グリーンリズム推進協議会」によるモニターシップを実施(7月、9月、10月、11月、12月/計8回)	0

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011)		平成24(2012)		平成25(2013)		平成26(2014)	
						計画	○検討	○EVバス車内における情報通信システムの開発のための民間企業との共同実験の検討	○EVバス車内における情報通信システムの開発のための民間企業との共同実験の検討	○EVバス車内における情報通信システムの開発のための民間企業との共同実験の検討	○EVバス車内における情報通信システムの開発のための民間企業との共同実験の検討	○EVバス車内における情報通信システムの開発のための民間企業との共同実験の検討	○EVバス車内における情報通信システムの開発のための民間企業との共同実験の検討
1.「既存公共交通の取組(既存公共交通の利便性向上)」	7	公共交通向上施策	交通情報通信システム開発	バス車内における目的地到着予定期刻案内、乗継ぎ案内などの交通情報や目的地周辺の最新の鏡式情報提供、利便性を向上させるシステムを開発します。	■実施済み又は本格実施中	□実施前最終段階	□企画構想段階	○着手前	○市内を運行する19のバス・鉄道の乗り換え案が可能な無料アプリの開発に着手。(市バスについては、車両に搭載されているGPSを用い、その日の道路状況を踏まえた到着予測を実現。また、観光地情報や、バス停・駅の周辺情報も提供)	○運用開始(8月)	○鏡光コンテンツの英語化を実施。(2月)	○バス内へのナビアプリー情報の強化に着手	○EVバス車内における情報通信システムの開発のための民間企業との共同実験の検討
2.「まちづくりの取組(歩行者優先のまちづくり)」	8	公共交通向上施策	東大路通の自動車通抑制と歩道拡幅	多くの市民、観光客が訪れる東大路通などにおいて、歩行空間の拡大と交通安全の抑制を図ります。	■実施済み又は本格実施中	□実施前最終段階	■企画構想段階	○着手前	○歩行空間創出推進会議の設置について関係者との協議	○「東大路通歩行空間創出推進会議」の開催(4月、8月、3月)	○「東大路通歩行空間創出推進会議」の実施(5月25日～6月25日)	○「東大路通歩行空間創出推進会議」の開催(9月、3月)	
2.「まちづくりの取組(歩行者優先のまちづくり)」	9	公共交通向上施策	歩道拡幅と歩行空間の充実	市内最大の繁華街である四条通を中心とする都心地域において、歩道拡幅による快適な歩行空間の確保とマイカーから公共交通への転換を図ります。	■実施済み又は本格実施中	□実施前最終段階	□企画構想段階	○着手前	○歩行空間創出推進会議の設置について関係者との協議	○「東大路通歩行空間創出推進会議」の開催(4月、8月、3月)	○「東大路通歩行空間創出推進会議」の実施(5月25日～6月25日)	○「東大路通歩行空間創出推進会議」の開催(9月、3月)	
2.「まちづくりの取組(歩行者優先のまちづくり)」	10	公共交通向上施策	未来の公共交通充実	高い速達性と定時性、需要に見合った輸送力を併せ持ちの「LRT(次世代路面電車)」や「BRT(バス高速輸送システム)」などの新しい公共交通システムの実現に向け検討します。	■実施済み又は本格実施中	□実施前最終段階	■企画構想段階	○着手前	○歩くまちにおける新しいシステムの検討・導入検討	○未来の公共交通推進会議の開催(3月)	○未来の公共交通推進会議の開催(3月)	○京都のまちにふさわしい公共交通について検討	

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像1 人と公共交通優先の歩いて楽しいまち

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像1 人と公共交通優先の歩いて楽しいまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
22	4. エコカーへの転換	インフラ整備の推進	共同住宅、民間駐車場、商業施設などによる介電設備や水素ステーションの設置に対するインセンティブを与える制度の創設や、新築建築物への介電設備の導入を進めめる仕組みを検討し、工場の付与の仕組みを向けています。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	○検討 イ進捗状況 ウ予算額(うち国),千円 エ決算額(うち国),千円	○充電設備等の設置を促進するため、補助制度の創設も含めた有効な推進策の検討	○充電設備等の設置を促進するため、補助制度の創設も含めた有効な推進策の検討	○充電設備設置補助制度の創設	○対応策の実施
23	4. エコカーへの転換	事業者・販売店を通じた転換促進	特定事業者への導入義務化	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	○検討 イ進捗状況 ウ予算額(うち国),千円 エ決算額(うち国),千円	○義務制度の開始 ・計画期間中(123～25年度)に取得する新車の総台数に対するエコカーの割合を50%以上とすることを義務付け、エコカーの普及の促進	○平成23年度に取得した新車の台数及びエコカーの内訳を示す新車購入等報告書の受理 (特定事業者が導入した新車のうち約64%がエコカー)	○平成24年度に取得した新車の台数及びエコカーの内訳を示す新車購入等報告書の受理 (特定事業者が導入した新車のうち約78%がエコカー)	○平成24年度に取得した新車の台数及びエコカーの内訳を示す新車購入等報告書の受理 (特定事業者が導入した新車のうち約78%がエコカー)
24	4. エコカーへの転換	自動車販売店を通じた転換促進	自動車販売店に対するエコカー販売実績報告の義務化	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	○制度開始 ・顧客への新車販売時に自動車環境情報の説明、エコカー販売促進及び、新車販売実績報告書の提出 ウ予算額(うち国),千円 エ決算額(うち国),千円	○平成23年度のエコカー販売実績を記載した新車販売実績報告書の受理 (新車販売台数は約4万8千台、うちエコカーの販売台数は約3万9千台)	○平成24年度のエコカー販売実績を記載した新車販売実績報告書の受理 (新車販売台数は約4万8千台、うちエコカーの販売台数は約3万9千台)	○平成24年度のエコカー販売実績を記載した新車販売実績報告書の受理 (新車販売台数は約4万8千台、うちエコカーの販売台数は約3万9千台)	○平成24年度のエコカー販売実績を記載した新車販売実績報告書の受理 (新車販売台数は約4万8千台、うちエコカーの販売台数は約3万9千台)
25	4. エコカーへの転換	事業者・販売店を通じた転換促進	電動バス・ハイブリッドバスなどの導入促進	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	○検討(EVバスの実証実験) イ進捗状況 ウ予算額(うち国),千円 エ決算額(うち国),千円	(EVバスの実証実験) ○運転中の乗客の乗車の意識調査と途中充電を踏まえた電動バスの走行距離の検証を行った実証実験を実施。	(EVバスの実証実験) ○運転中の乗客の乗車の意識調査と途中充電を踏まえた電動バスの走行距離の検証を行った実証実験を実施。	(EVバスの実証実験) ○実証実験を踏まえ、メーカーによるEVバス実用化に向けた開発技術等の検討。	(EVバスの実証実験) ○実証実験を踏まえ、メーカーによるEVバス実用化に向けた開発技術等の検討。

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組に取り組むまち

社会像2 森を再生し「木の文化」を大切ににするまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	
26	1. 地域 産木村の 活用	建築物木 材利用	特定建築物 への地域産 木村の利用 義務化	■実施済み又は本 格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○義務化の詳細について、建築関連団 体と意見交換 ○京都市地球温暖化対策条例規則改正(4 月) ・木材利用の基準について策定	イ進捗状況 ○市営住宅建設の基本計画の策定に おいて、地域産材活用を推進	○特定建築物の建築主に対し、地域産 木村の利用義務化・届出の受付開始(4 月～) ○市営住宅建設の基本計画策定及び 実施設計において、地域産材活用を推 進	○特定建築物の建築主に対する地域 産木材の利用義務に係る届出の受付 ○市営住宅建設において、地域産材活 用を推進	
27	1. 地域 産木村の 活用	建築物木 材利用	公共施設へ の地域産木 村の率先利 用	■実施済み又は本 格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○京都市が整備する公共建築物などの 公共施設において、 地域産木材を積極的に利 用します。	イ進捗状況 ○市営住宅建設の基本計画の策定に おいて、地域産材活用を推進	○市営住宅建設の基本計画策定及び 実施設計において、地域産材活用を推 進	○市営住宅建設の基本計画策定及び 実施設計において、地域産材活用を推 進	
28	1. 地域 産木村の 活用	建築物木 材利用	「CASBEE京 都」による環 境性能の評 価が無い建 築物の普及 促進	■実施済み又は本 格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○京都らしい環境配慮建築物 を適切に評価、誘導するため のシステムである「CASBEE 京都」の表示を推奨(延床面 積2,000m ² 以上)の特定建築 物は義務化)し、環境性能の 高い建築物の普及を図りま す。さらに、既存建築物の評 価システムの整備を行いま す。	イ進捗状況 ○市営住宅建設の基本計画の策定に おいて、地域産材活用を推進	○CASBEE京都(新築)の運用、届出書 類の審査(4月～) ○CASBEE京都の普及啓発にかかる 業務、CASBEE京都の普及改修の運用、 検討(6月～) ○CASBEE京都(既存、改修)の策定完 了(3月)	○CASBEE京都(新築)の運用、届出書 類の審査(既存、改修)の運用、 届出書類の審査(6月～) ○「京(みやこ)環境配慮建築物」頭章 制度を創設	○CASBEE京都(新築)の運用、届出書 類の審査(既存、改修)の運用、 届出書類の審査(既存、改修)の運用、 届出書類の審査(6月～) ○CASBEE京都(既存、改修)の策定完 了(3月)
29	1. 地域 産木村の 活用	建築物木 材利用	低炭素景観 の保全・創造	■実施済み又は本 格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○市民とともに創造する景観づくりに關 する仕組みの整備やデザイン保全区域の員 なる部署、遠置デザイン保全区域の員 直しなど、更に進化した景観政策を施行 (4月) ○景観重要建造物及び歴史的風致形 成建造物の指定:17件(24年3月末現 在) ○歴史的な町並みの保全・再生に係る 補助:66件(24年3月末現在)	イ進捗状況 ○企画構想段階 □着手前	○市民とともに創造する景観づくりに關 する仕組みの整備やデザイン保全区域の員 なる部署、遠置デザイン保全区域の員 直しなど、更に進化した景観政策を施行 (4月) ○景観重要建造物及び歴史的風致形 成建造物の指定:17件(24年3月末現 在) ○歴史的な町並みの保全・再生に係る 補助:66件(24年3月末現在)	○市民とともに創造する景観づくりに關 する仕組みの整備やデザイン保全区域の員 なる部署、遠置デザイン保全区域の員 直しなど、更に進化した景観政策を施行 (4月) ○景観重要建造物及び歴史的風致形 成建造物の指定:17件(24年3月末現 在) ○歴史的な町並みの保全・再生に係る 補助:66件(24年3月末現在)	○市民とともに創造する景観づくりに關 する仕組みの整備やデザイン保全区域の員 なる部署、遠置デザイン保全区域の員 直しなど、更に進化した景観政策を施行 (4月) ○景観重要建造物及び歴史的風致形 成建造物の指定:17件(24年3月末現 在) ○歴史的な町並みの保全・再生に係る 補助:66件(24年3月末現在)

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組に係る進捗状況

社会像2 森を再生し「木の文化」を大切にするまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
30	1. 地域 産木材の 活用	建築物の 地域産木 材利用	「平成の京町 家の普及促 進」	■実施済み又は本 格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イ進捗状況 ○平成の京町家認定制度の実施 ○平成及び発行事業の実施と連携し た普及啓発事業の実施 ○平成の京町家モデル住宅展示場(「K YOMO」)の開設(11月) ○平成の京町家普及センターの運営	○平成の京町家認定制度の実施 ○平成の京町家シンーシアムと連携し た普及啓発事業の実施 ○平成の京町家モデル住宅展示場(「K YOMO」)の運営 ○平成の京町家普及センターの運営	○平成の京町家認定制度の実施 ○平成及び発行事業の実施と連携し た普及啓発事業の実施 ○平成の京町家モデル住宅展示場(「K YOMO」)の開設(11月) ○平成の京町家普及センターの運営	○平成の京町家認定制度の実施 ○平成及び発行事業の実施と連携し た普及啓発事業の実施 ○平成の京町家モデル住宅展示場(「K YOMO」)の開設(11月) ○平成の京町家普及センターの運営	○平成の京町家認定制度の実施 ○平成及び発行事業の実施と連携し た普及啓発事業の実施 ○平成の京町家モデル住宅展示場(「K YOMO」)の運営 ○平成の京町家普及センターの運営
31	1. 地域 産木材の 活用	間伐材や 木質ペ レットなど の利用	木質ペ レット ストーブ・ボイ ラー・吸収式 温水器の 普及推進	■実施済み又は本 格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イ進捗状況 ○木質ペレットを燃料とするス トーブ・ボイラー、吸収式冷 温水器を普及推進するた め、導入支援策を実施しま す。	○木質ペレットストーブ等普及促進事業 ○木質ペレットストーブ等普及促進事業 ○木質ペレットストーブ45台、木質ペレッ トボイラー3台	○木質ペレット需要拡大事業実施(5月 ～) ○木質ペレットストーブ45台、木質ペレッ トボイラー4台	○木質ペレット需要拡大事業実施(5月 ～) ○木質ペレットストーブ58台、木質ペレッ トボイラー4台	○木質ペレット需要拡大事業実施(5月 ～) ○木質ペレットストーブ58台、木質ペレッ トボイラー4台
32	1. 地域 産木材の 活用	間伐材や 木質ペ レットなど の利用	木質ペ レット などの公共建 築物への率 先利用	■実施済み又は本 格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イ進捗状況 ○京都市及び関 係機関において、木質ペレット及び 木材を使った物 品を積極的 に利用します。	○地域産材ストック情報システム検討 委員会開催(3回)(No.34、再掲) ○京都市木材利用基本方針策定準備 会による検討(25年2月～)	○地域産材ストック情報システムの運用 ○京都市公共建築物木質素仕様など ○木質ペレット等の施設整備	○地域産材ストック情報システムの運用 ○京都市公共建築物木質素仕様など ○木質ペレット等の施設整備	○地域産材ストック情報システムの運用 ○京都市公共建築物木質素仕様など ○木質ペレット等の施設整備
33	1. 地域 産木材の 活用	間伐材や 木質ペ レットなど の利用	間伐材の供 給に対する助 成	■実施済み又は本 格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イ進捗状況 ○木質ペレット原 料用の間伐材 の供給に対する助成制度を 創設し、間伐材の需要拡大 と森林の適切な整備を推進 します。	○木質資源利用促進事業:ペレットの原 料となる間伐材の搬入実施(7月～) ○木質資源利用推進事業:ペレットの原 料となる間伐材の搬入実施(4月～)	○木質資源利用促進事業:ペレットの原 料となる間伐材の搬入実施(7月～) ○木質資源利用推進事業:ペレットの原 料となる間伐材の搬入実施(4月～)	○木質資源利用促進事業:ペレットの原 料となる間伐材の搬入実施(7月～) ○木質資源利用推進事業:ペレットの原 料となる間伐材の搬入実施(4月～)	○木質資源利用促進事業:ペレットの原 料となる間伐材の搬入実施(7月～) ○木質資源利用推進事業:ペレットの原 料となる間伐材の搬入実施(4月～)

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組に係る進捗状況

社会像2 森を再生し「木の文化」を大切ににするまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
34	1. 地域 産木材の 活用	木材利用 者への情 報提供	地域産木材 システムの整 備	京都市地域産木材の利用促進を図るために、木材業界と連携し、工務店が必要とする木材について、供給システムを構築します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	○「木」の文化を具現化する推進委員会「地域産木材ストック情報システム検討委員会」開催(2回) ○「地域産木材ストック情報システムの運用(No.32再掲)	○「木」の文化を具現化する推進委員会「地域産木材ストック情報システムの運用(No.32再掲)」開催(2回) ○京都市木材情報システム検討(25年2月～)(No.32再掲) ○京都市公共建築物における木材利用基本方針策定委員会による検討(25年2月～)(No.32再掲)	○「木」の文化を具現化する推進委員会「地域産木材ストック情報システムの運用(No.32再掲)」開催(2回) ○京都市木材情報システムの運用(No.32再掲) ○京都市木材利用基本方針策定(No.32再掲)	○「木」の文化を具現化する推進委員会「地域産木材ストック情報システムの運用(No.32再掲)」開催(2回) ○京都市木材情報システムの運用(No.32再掲) ○京都市木材利用基本方針策定(No.32再掲)
35	1. 地域 産木材の 活用	木材利用 者への情 報提供	「ウッドマイレー ジ」などの評価	木材の产地から消費地までの輸送距離から算出される木材輸量(「ウッドマイレージ」)を排出量(「カーボンマイレージ」)と評価します。さらに木質ペレットを含め、木材の生産から流通消費までも市民に見える形で評価し、情報発信する形で検討します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	○「木」の文化を具現化する推進委員会「地域産木材ストック情報システムの運用(No.32再掲)」開催(2回) ○「木」の文化を具現化する推進委員会「地域産木材ストック情報システムの運用(No.32再掲)」開催(2回) ○「木」の文化を具現化する推進委員会「地域産木材ストック情報システムの運用(No.32再掲)」開催(2回)	○「木」の文化を具現化する推進委員会「地域産木材ストック情報システムの運用(No.32再掲)」開催(2回) ○「木」の文化を具現化する推進委員会「地域産木材ストック情報システムの運用(No.32再掲)」開催(2回) ○「木」の文化を具現化する推進委員会「地域産木材ストック情報システムの運用(No.32再掲)」開催(2回)	○「木」の文化を具現化する推進委員会「地域産木材ストック情報システムの運用(No.32再掲)」開催(2回) ○「木」の文化を具現化する推進委員会「地域産木材ストック情報システムの運用(No.32再掲)」開催(2回) ○「木」の文化を具現化する推進委員会「地域産木材ストック情報システムの運用(No.32再掲)」開催(2回)	○「木」の文化を具現化する推進委員会「地域産木材ストック情報システムの運用(No.32再掲)」開催(2回) ○「木」の文化を具現化する推進委員会「地域産木材ストック情報システムの運用(No.32再掲)」開催(2回) ○「木」の文化を具現化する推進委員会「地域産木材ストック情報システムの運用(No.32再掲)」開催(2回)
36	2. 森林 の適切な 保全	森林 整備 の育成	森林整備 の育成	森林整備事業などによる健全な森林づくり、とりわけ間伐の必要な森林や、新たに森林の整備の推進と森林認証制度の普及に努めるとともに、長伐跡林、複層林、広葉樹などを多様な森林の整備を進めます。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	○森林整備事業などによる健全な森林づくり、とりわけ間伐の必要な森林や、新たに森林の整備の推進と森林認証制度の普及に努めるとともに、長伐跡林、複層林、広葉樹などを多様な森林の整備を進めます。	○森林の力活性・利用対策～地球温暖化防止森林吸収源対策～・間伐及び作業路整備を実施(4月～) ○森林ハイオスマス活用推進事業：間伐及び作業路整備を実施(4月～)	○森の力活性・利用対策～地球温暖化防止森林吸収源対策～・間伐及び作業路整備を実施(4月～) ○森林ハイオスマス活用推進事業：間伐及び作業路整備を実施(4月～)	○森の力活性・利用対策～地球温暖化防止森林吸収源対策～・間伐及び作業路整備を実施(4月～) ○森の力活性・利用対策～地球温暖化防止森林吸収源対策～・間伐及び作業路整備を実施(4月～)
37	2. 森林 の適切な 保全	森林 整備 の育成	三山森林景 観保全・再生 ガイドラインの 推進	三山の森林景観を保全・再生するためのが、ガイドラインに基づき、市民や事業者との協働による森林景観づくりを推進します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	○「木」の文化を具現化する推進委員会「地域産木材ストック情報システムの運用(No.32再掲)」開催(2回) ○「木」の文化を具現化する推進委員会「地域産木材ストック情報システムの運用(No.32再掲)」開催(2回) ○「木」の文化を具現化する推進委員会「地域産木材ストック情報システムの運用(No.32再掲)」開催(2回)	○「木」の文化を具現化する推進委員会「地域産木材ストック情報システムの運用(No.32再掲)」開催(2回) ○「木」の文化を具現化する推進委員会「地域産木材ストック情報システムの運用(No.32再掲)」開催(2回) ○「木」の文化を具現化する推進委員会「地域産木材ストック情報システムの運用(No.32再掲)」開催(2回)	○「木」の文化を具現化する推進委員会「地域産木材ストック情報システムの運用(No.32再掲)」開催(2回) ○「木」の文化を具現化する推進委員会「地域産木材ストック情報システムの運用(No.32再掲)」開催(2回) ○「木」の文化を具現化する推進委員会「地域産木材ストック情報システムの運用(No.32再掲)」開催(2回)	○「木」の文化を具現化する推進委員会「地域産木材ストック情報システムの運用(No.32再掲)」開催(2回) ○「木」の文化を具現化する推進委員会「地域産木材ストック情報システムの運用(No.32再掲)」開催(2回) ○「木」の文化を具現化する推進委員会「地域産木材ストック情報システムの運用(No.32再掲)」開催(2回)
38	2. 森林 の適切な 保全	森林 整備 の育成	森林整備 の育成	森林整備の森い手との人材の育成、確保	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	○森林整備の森い手との人材の育成、確保	○森林労働者の社会保険制度や技術研修制度の充実、森林整備組合などにおける森林整備の養成を行なうににより、森林の担い手を確保し、森林整備に必要な体制の整備を図ります。	○森林労働者共済事業(森林労働者の退職金等制度への加入助成)の実施 ○森林労働者社会保険制度への加入助成(森林労働者の退職金等制度への加入助成)の実施 ○森林労働者社会保険制度への加入助成(森林労働者の社会保険制度への加入助成)	○森林労働者共済事業(森林労働者の退職金等制度への加入助成)の実施 ○森林労働者社会保険制度への加入助成(森林労働者の退職金等制度への加入助成)

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組に進捗状況

社会像2 森を再生し「木の文化」を大切にするまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
39	2. 森林の適切な保全	林業の振興	施業集約化の推進	■実施済み又は本格実施中 地域産材を安定供給できる体制づくりを目指して、伐採、造林、保育を一体的、計画的、効率的に行う事業の集約化を推進します。	計画 イ進捗状況 ○森林総合整備事業:植林、保育及び作業路整備の実施(4月～) ウ予算額(うち国):千円 工決算額(うち国):千円	○地域産材を安定して供給できる体制の構築 ○森林総合整備事業:植林、保育及び作業路整備の実施(4月～) ○森林総合整備事業:植林、保育及び作業路整備の実施(4月～) ウ予算額(うち国):千円 工決算額(うち国):千円	○森林総合整備事業:植林、保育及び作業路整備の実施(4月～) ○森林総合整備の実施(4月～) ○高性能林業機械1台導入 ウ予算額(うち国):千円 工決算額(うち国):千円	○森林総合整備事業:植林、保育及び作業路整備の実施(4月～) ○高性能林業機械1台導入 ウ予算額(うち国):千円 工決算額(うち国):千円	○森林総合整備事業:植林、保育及び作業路整備の実施(4月～) ○高性能林業機械1台導入 ウ予算額(うち国):千円 工決算額(うち国):千円
40	2. 森林の適切な保全	林業の振興	林業経営の効率化と低コスト化の推進	林業の生産性を高め、経営の効率化を図るために、密度の高い林内路網の整備と、地形・立地に適した高性能林業機械の導入を進めます。	計画 イ進捗状況 ○企画構想段階 ウ着手前 ウ予算額(うち国):千円 工決算額(うち国):千円	○密度の高い林内路網の整備、高性能林業機械の導入 ○森林総合整備事業:植林、保育及び作業路整備の実施(4月～) ○高性能機械1台導入 ウ予算額(うち国):千円 工決算額(うち国):千円	○森林総合整備事業:植林、保育及び作業路整備の実施(4月～) ○高性能機械2台導入 ウ予算額(うち国):千円 工決算額(うち国):千円	○森林総合整備事業:植林、保育及び作業路整備の実施(4月～) ○高性能機械1台導入 ウ予算額(うち国):千円 工決算額(うち国):千円	○森林総合整備事業:植林、保育及び作業路整備の実施(4月～) ○高性能機械1台導入 ウ予算額(うち国):千円 工決算額(うち国):千円
41	2. 森林の適切な保全	森づくりへの市民参加	森づくりへの市民参加	■実施済み又は本格実施中 市街地周辺三山などの里山や京北合併記念の森を中心とした市民などの参画による森林の保全・整備などの活動を展開します。	計画 イ進捗状況 ○企画構想段階 ウ着手前 ウ予算額(うち国):千円 工決算額(うち国):千円	○伝統文化の森推進事業 ○京都伝統文化の森推進協議会の活動:市民参画イベント実施(4月、10月、12月、3月) ○合併記念の森管理運営協議会の活動:市民参加のイベント実施(6月、11月) ○合併記念の森管理運営協議会の活動:市民参加のイベント実施(11月、3月)	○京都伝統文化の森推進協議会の活動:市民参画イベント実施(10月、12月、3月) ○合併記念の森管理運営協議会の活動:市民参加のイベント実施(6月、11月) ○合併記念の森管理運営協議会の活動:市民参加のイベント実施(11月、3月)	○京都伝統文化の森推進協議会の活動:市民参画イベント実施(5月、10月、12月、3月) ○合併記念の森管理運営協議会の活動:市民参加のイベント実施(6月、11月) ○合併記念の森管理運営協議会の活動:市民参加のイベント実施(11月、3月)	○京都伝統文化の森推進協議会の活動:市民参画イベント実施(4月、10月、12月、3月) ○合併記念の森管理運営協議会の活動:市民参加のイベント実施(6月、11月) ○合併記念の森管理運営協議会の活動:市民参加のイベント実施(11月、3月)
42	2. 森林の適切な保全	森づくりへの市民参加	里山など森林を活用した環境学習事業の展開	市民・事業者・大学参画による生態系保全型の森づくりシステムを構築し、豊かな農林資源を活用した環境学習などに活用する森林整備を行って、そのシステムを民有林全体に推進します。	計画 イ進捗状況 ○企画構想段階 ウ着手前 ウ予算額(うち国):千円 工決算額(うち国):千円	○生態系保全型の森づくりシステムの構築 ○森林の現状等に係る市民への普及啓発:森づくりワークの実施(7月、12月)	○森林の現状等に係る市民への普及啓発:森づくりワークの実施(7月、12月)	○森林の現状等に係る市民への普及啓発:森づくりワークの実施(9月、12月)	○森林の現状等に係る市民への普及啓発:森づくりワークの実施(9月、12月)
43	3. 水と緑と風を生みたまちづくり	市街地の緑化	特定緑化建築物への緑化義務化	条例に基づく特定緑化建築物(敷地面積1,000m ² 以上の新築・改築建築物)について、建築物及び敷地の緑化を義務化することにより、市街地の緑化を推進します。	計画 イ進捗状況 ○企画構想段階 ウ着手前 ウ予算額(うち国):千円 工決算額(うち国):千円	○義務化の詳細について、建築関連団体と意見交換 ○京都都市地球温暖化対策条例規則改正(3月) ・緑化基準の策定	○実施	○特定緑化建築物の建築主に対し、建築物及び敷地の緑化義務化を義務化・届出の受付開始(4月～)	○特定緑化建築物の建築主に対し、建築物及び敷地の緑化義務化を義務化・届出の受付開始(4月～)

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組に取り組むまち

社会像2 森を再生し「木の文化」を大切ににするまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
44	3. 水と緑と風を生かしたまちづくり	市街地の緑化	■実施済み又は本格実施中	京都市が整備する公共建築物などの公共施設において、緑化を積極的に推進します。	イ進捗状況	○市営住宅建設の基本計画策定及び実施設計において緑化を推進	○市営住宅建設の基本計画策定において緑化を推進	○市営住宅建設において、緑化を推進	
45	3. 水と緑と風を生かしたまちづくり	市街地の緑化	■実施済み又は本格実施中	住宅や事業所などの民有地における緑化に対して助成するなど、民有地緑化の推進を図ります。	イ進捗状況	○屋上緑化:3件、30m ² 、助成237千円 ○壁面緑化:2件、37m ² 、助成185千円 ○地上緑化:11件、160m ² 、助成999千円 ※壁面緑化のうち1件は、地上緑化も実施(件数に含まず)	○屋上緑化:3件、55m ² 、助成550千円 ○壁面緑化:2件、16m ² 、助成80千円 ○地上緑化:11件、22m ² 、助成220千円 ※壁面緑化のうち1件は、地上緑化も実施(件数に含まず)	○屋上緑化:1件、22m ² 、助成106千円 ○地上緑化:1件、1191千円 ※壁面緑化:0件	○地上緑化:12件、127m ² 、助成額:1,191千円
46	3. 水と緑と風を生かしたまちづくり	市街地の緑化	■実施済み又は本格実施中	市民などによる市民協働による民有地緑化の推進を図ります。	イ進捗状況	○検討中	○中心市街地における民有地緑化の推進について、他都市のはがねの確認や、多制度との整合等の検討を実施		
47	3. 水と緑と風を生かしたまちづくり	市街地の緑化	■実施済み又は本格実施中	地域主導の市民農園モデルとなる総合型市民農園を整備し、市民が参加できる環境にやさしい都市型農業を振興します。	イ進捗状況	○実施	○総合型市民農園付帯設備(クラブハウス、バイオトイレ等)の設置(6月～9月) ○総合型市民農園開園(9月) ○各種農業イベント実施	○総合型市民農園運営(4月～) ○各種農業イベント実施	

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組に取り組むまち

社会像2 森を再生し「木の文化」を大切ににするまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
48	3. 水と緑と風を生み、まちづくり	ヒートアイランド対策	ヒートアイランド対策	市街地周辺の山々や農地の街路樹などの緑と、市内を貫流する河川の緑を骨格とした緑のネットワークを形成します。	■実施済み又は本格実施中	□実施前最終段階	○「道路の森づくり」 御池通(天神川～西大路通):ケヤキ49本、サルスベリ4本(1.4 km)植栽	○「道路の森づくり」 御池通～西大路通(御池通～西大路通～四条通～鳥丸通～御前通):ケヤキ51本植栽	○「道路の森づくり」 久世橋通(国道171号～国道24号)ケヤキ等164本植栽、葛野大路通(御池通～鳥丸通～四条通～鳥丸通～御前通):サルスベリ21本植栽
49	3. 水と緑と風を生み、まちづくり	ヒートアイランド対策	ヒートアイランド対策	市街地周辺の山々や農地の街路樹などの緑と、市内を貫流する河川の緑を骨格とした緑のネットワークを形成します。	■実施済み又は本格実施中	□実施前最終段階	○「道路の森づくり」 御池通(天神川～西大路通):ケヤキ49本、サルスベリ11本植栽(0.7 km)植栽	○「鳥丸通～緑の道路環境整備事業(道路の森づくり)」 鳥丸通(御池通～五条通～五条通):ケヤキ等72本植栽	○「鳥丸通～緑の道路環境整備事業(道路の森づくり)」 鳥丸通(御池通～五条通～五条通):ケヤキ等72本植栽
50	3. 水と緑と風を生み、まちづくり	ヒートアイランド対策	ヒートアイランド対策	水の気化熱を利用して周辺の気温を下げる「打ち水」の実施拡大や、「ミスト装置」の普及促進に取り組み、ヒートアイランド現象の緩和に努めます。	■実施済み又は本格実施中	□実施前最終段階	○上下水道局本庁前及び下水道部管路管理センター・支所5営業所にて一斉打ち水大作戦2011実施(8月) ○可動式のドライ型ミスト装置2台を、通常は動物園に設置し(5月7日～10月2日),イベント時は会場に移設(10箇所)	○上下水道局本庁前及び下水道管路管理センター・支所5営業所にて一斉打ち水大作戦2012実施(8月1日～9月)「スマートシャワー」 ○100箇所の保育所、幼稚園、児童館及び市立小中学校に、簡易型ミスト装置をモニター設置(7月～9月)「スマートシャワー」 ○京都ならではの夏の伝統行事、イベント開催の場にドライ型ミスト装置を設置(みやこ祭り)に合わせて	○上下水道局本庁前及び下水道管路管理センター・支所5営業所にて一斉打ち水大作戦2013実施(8月1日～9月)「スマートシャワー」 ○100箇所の保育所、幼稚園、児童館及び市立小・中学校に、簡易型ミスト装置をモニター設置(7月～9月)「スマートシャワー」 ○上下水道局本庁前及び下水道管路管理センター・支所5営業所にて一斉打ち水大作戦(8月1日～9月)「スマートシャワー」 ○100箇所の保育所、幼稚園、児童館及び市立小・中学校に、簡易型ミスト装置をモニター設置(7月1日～9月30日)

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像3 エネルギー創出・地域循環のまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
51	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	事業活動における活用	「DO YOU KYOTO? クレジット(仮称)制度の創設	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	○計画	○実施	○省エネに取り組む中小事業者・ミニユーニティの募集とプロジェクト登録を継続実施(4月～) ○クレジット認証を実施、クレジット創出奨励金を交付(2月～3月) ○DO YOU KYOTO? クレジット創出・活動促進協議会を立ち上げ、クレジット創出奨励金を交付(2月～3月) ○促進の取組について検討・実施	○省エネに取り組む中小事業者・ミニユーニティの募集とプロジェクト登録を継続実施(4月～) ○クレジット認証を実施、クレジット創出奨励金を交付(2月～3月) ○DO YOU KYOTO? クレジット創出・活動促進協議会において、引き続き、クレジット創出・活用促進の取組について検討・実施	6000(0)
52	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	事業活動における活用	特定建築物への再生可能エネルギーの導入義務化	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	○計画	○実施	○特定建築物の建築主に対し、再生可能エネルギー利用設備の設置義務化(4月～) (平成24年度の再生可能エネルギー利用量 約51.1万MJ)	○特定建築物の建築主に対する再生可能エネルギー利用設備の設置義務化(4月～) (平成24年度の再生可能エネルギー利用量 約51.8万MJ)	17,710(0)
53	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	事業活動における活用	条例に基づき、特定建築物の建築主に対し、太陽光発電設備などの再生可能エネルギー利用設備の設置義務化	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	○計画	○実施	○事業者排出量削減計画書制度の開始(H23～H25年度)をH23.9月末までに提出を求める期間中(H23～25年度)に取り組む再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給について、温室効果ガス排出量から差し引いて評価を実施。	○平成24年度の温室効果ガス排出実績を示す事業者排出量削減報告書の受理	0
54	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	市民生活における活用	事業者排出量削減計画書制度における評価	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	○計画	○補助(太陽光発電設備)	○事業者排出量削減計画書制度(5,803.0) 7,500(0)	○事業者排出量削減計画書制度(5,803.0) 7,700(0)	10,000 7,300(0) 事業者排出量削減計画書
			太陽光発電設備及び太陽熱利用設備の導入に対する補助や融資を行います。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前		○助成の実施 ・申請件数 太陽光：単年度1,780件 蓄電：単年度48件 太陽熱：単年度12件 ・設置出力 太陽光：単年度6,325kW 蓄電：単年度5,657件 太陽熱：単年度81件 ・設置出力 太陽光：単年度7,269kW 蓄電：単年度3,877件 太陽熱：単年度15件 ・設置出力 太陽光：単年度21,297kW 蓄電：単年度129件 ・設置出力 太陽光：単年度27,623kW 蓄電：単年度27件			278,600(0)

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組に進捗状況

社会像3 エネルギー創出・地域循環のまち

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
55	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	市民生活における活用	市民協働発電制度の実施	■実施済み又は本格実施中 市民など協働で太陽光発電設備を設置する仕組みを構築します。	イ進捗状況 □企画構想段階 □着手前	○計画 ウ予算額(うち国):千円 工決算額(うち国):千円	○検討 0 0	○市民協働発電制度運営主体の決定(第1期(9月):5施設(うち1施設は後方に譲り),第2期(12月):2施設) ○出資者の募集(2~3月) ○発電所の稼働(3月):4施設 ○太陽光発電屋根貸し制度運営主体の決定(第1期(12月):20施設, 第2期(2~3月):3施設) ○発電所の稼働(3月):3施設	
56	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	市民生活における活用	新築住宅への再生可能エネルギーの導入を義務化する検討	■実施済み又は本格実施中 新築住宅に対して、再生可能エネルギーの導入を義務化することを検討します。	イ進捗状況 □企画構想段階 ■着手前	○計画 ウ予算額(うち国):千円 工決算額(うち国):千円	○検討 0 0	○国のエネルギー政策の動向を踏まえつつ、新築住宅への再生可能エネルギーの導入促進について検討	
57	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	公共部門における活用	公共建築物への再生可能エネルギーの導入	■実施済み又は本格実施中 京都府が整備する公共建築物において、再生可能エネルギー(太陽光、太陽熱、木質バイオマスなど)を積極的に導入します。	イ進捗状況 □企画構想段階 □着手前	○計画 ウ予算額(うち国):千円 工決算額(うち国):千円	○京都府公共建築物低炭素仕様に基づく施設整備 ○市営住宅建設の基本計画策定において、再生可能エネルギー導入を推進	○市営住宅建設の基本計画策定及び実施設計において、再生可能エネルギー導入を推進	○市営住宅建設において、再生可能エネルギー導入を推進
						設計費・工事費:18,332(10,389)の一部 ウ予算額(うち国):千円 工決算額(うち国):千円	設計費・工事費:154,669(69,047)の一部 6,909(3,110)の一部 ※翌年度繰越:9,900(6,600)	設計費・工事費:30,932(135,442)の一部 34,581(15,563)の一部 ※翌年度繰越:114,648(48,393)	工事費:979,594(520,423)の一部
						○京都府公共建築物低炭素仕様に基づく施設整備 ○公共施設10施設に太陽光発電約130kW導入 ウ予算額(うち国):千円 工決算額(うち国):千円	○公共施設3施設に太陽光発電約95kW導入(市民協働発電) ○水垂理立処分場へメガソーラー発電所(2,100kW×2基)を誘致	○市民協働発電制度(5施設約187kW導入)	

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011)		平成24(2012)		平成25(2013)		
						計画	○検討	○検討	○検討	○検討	○検討	
58	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	公共部門における活用	小水力発電の導入の推進	未利用エネルギーの中でも活用が期待される小水力発電について、導入可能性調査を行つとともに、新たな地域エネルギーとしての有効利用を図ります。	■実施済み又は本格実施中	イ進捗状況	○調査委託業者の選定に向けた事業内容検討(4月～) ○プロポーザルによる委託業務受託業者選定・委託契約締結(9月) □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	○琵琶湖疏水扇ダム放水路のにおいてらん型水車の設置の検討 ○琵琶湖疏水扇ダム放水路に伏見工業高校生徒製作による「らんさん水車」を設置(3月)	○琵琶湖疏水扇ダム放水路で実証実験を実施(3月)	○琵琶湖疏水扇ダム放水路(3月)	0	0
59	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	公共部門における活用	使用済てんぶら油から精製したバイオディーゼル燃料として精製したバイオディーゼル燃料として精製したバイオディーゼル燃料として活用します。	使用済てんぶら油から精製したバイオディーゼル燃料として精製した京都府市のごみ収集車や市バスの燃料として活用します。	■実施済み又は本格実施中	イ進捗状況	○小水力発電の詳細設計に向けた内容の検討。	○小水力発電の詳細設計(栗尾トンネル)	○小水力発電に係る工事を発注し、工事に着手した(栗尾トンネル) 工期H25.11.1～H26.7.31 契約金14,310千円(税込)	○小水力発電の詳細設計の実施(栗尾トンネル)	3,000(0)	
60	1. 再生可能エネルギーの導入拡大	公共部門における活用	南部クリーンセンター第2工場建設	新たに建替え整備を行う第2工場では、從来から行つてゐるごみ発電の更なる高効率化や、生ごみのバイオガス化を行い、ごみの持つエネルギー回収の最大化を図ります。	■実施済み又は本格実施中	イ進捗状況	○調査委託業者の選定に向けた準備 □企画構想段階 □着手前	○循環型社会形成推進交付金に係る地域計画の事後評価 ○最新の他都市事例調査 ○メーカー及び工事業者の意見集積	○南部クリーンセンター第2工場整備事業者の選定に向けた準備 ○南部クリーンセンター第2工場整備工事契約締結	○現場着工	0	

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像4 環境にやさしいライフスタイル

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
64	1. 工生 活の普及 促進	エコ生 活を樂 しく格好よ く	京朝スタイル の普及	「太陽が昇つたら起きて、沈 んだら寝る」という自然のサイ クルに沿つた、京都祭の、健 康的で環境にもやさしい朝型 のライフスタイルを推奨する 取組である「京朝スタイル」の 普及を図ります。	■実施済み又は本 格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 ○事業実施(京朝スタイル月間の取組)	○見直し充実 ○朝講座の開設(7~9月) ○京朝写真コンテストの開催(7~9月) ○SNS及びホームページでの朝に関す る情報発信(4月~) ○SNS及びホームページでの朝に関す る情報発信(7月~)	○見直し充実 ○SNS及びホームページでの朝に関す る情報発信(4月~)	○見直し充実 ○SNS及びホームページでの朝に関す る情報発信(4月~)
65	1. 工生 活の普及 促進	エコ生 活を樂 しく格好よ く	京朝スタイル の普及	多様なメイ ディアを積極活 用した普及啓 発 に加えて、インターネ <small>t</small> トやテ レビなど、市民に深く浸透して いるメディアを積極活用した 普及啓発を推進します。	■実施済み又は本 格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 ○実施中 □実施中 □実施中 □着手前	○市民しんぶん 7月1日号(新聞)、2月1日号8・9面 (DO YOU KYOTO?)他。 ○テレビ 7月22日特集(クールスポット)、8月5日市 政ニュース(エコマホー)他。 ○ラジオ 4月26日市政ニュース(太陽エネルギー ア実験)他。 ○電光掲示板 環境月間や新電の啓発他。 ○映画 筋電をテーマとした映像を約2箇月間上 映。映画「ごみ減量」をテーマとした映像を約3箇月 間上映。 ○商業誌 「月刊京都」 ○クールスポットの取組紹介。 ○京都市情報館 「太陽エネルギー」の新電の啓発他。 ○きょうどう動画情報館 「DO YOU KYOTO?」を紹介した動画を制 作・公開。 ○暮らしのひき 「DO YOU KYOTO?」等について誌面 で紹介他。 ○商業誌 筋電の啓発他。	○市民しんぶん 6月1日号2面(省エネ・節電の事 門家 派遣)、8・9面(環境月間)他。 ○ラジオ 市政ニュース・PRスポーツ・市長出演番組 でDO YOU KYOTO?「新電」[太陽光発電 設備への助成等の取組紹介]啓発。 ○市民ニュース(紙スター版・バ 版)「新電」[太陽光発電設備への助成等の取組紹介]啓 発。 ○電光掲示板 環境月間や新電の啓発。 ○映画 筋電をテーマとした映像を約2箇月間上 映。映画「ごみ減量」をテーマとした映像を約3箇月 間上映。 ○商業誌(「月刊京都」) 「DO YOU KYOTO?」を紹介した動画を制 作・公開。 ○京都市情報館 「太陽エネルギー」の新電の啓発他。 ○きょうどう動画情報館 「DO YOU KYOTO?」を紹介した動画を制 作・公開。 ○暮らしのひき 「DO YOU KYOTO?」等について誌面で紹 介。 ○SNS 「公式】京都市情報館Facebook版、Twitter 版」	○見直し充実 ○SNS及びホームページでの朝に関す る情報発信(4月~)

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像4 環境にやさしいライフスタイル

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
66	1. エコ生活の普及促進	「DO YOU KYOTO?」における取組の推進	京都議定書が発効した2月16日を記念し、毎月16日を「DO YOU KYOTO? デー」と定め、この日を中心に行なわれる「ノーママイカーデー」など環境にやさしい取組を市民や事業者とともに実践します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イ進捗状況	○「DO YOU KYOTO?」プロジェクト開催事業への参加者46,686人、協力229社 ○「DO YOU KYOTO? ラッピングバス」の運行及び地下鉄への広告掲出 (2/11~2/23)	○「DO YOU KYOTO?」プロジェクト開催事業協力251社 (※開運事業への参加者数は現在集計中) ○「DO YOU KYOTO?」プロジェクト開催事業への参加者104,262人、協力239社 ○「DO YOU KYOTO? ラッピングバス」の運行及び地下鉄への広告掲出 (2/11~2/23)	○「DO YOU KYOTO?」プロジェクト開催事業 事業協力251社 (※開運事業への参加者数は現在集計中) ○「DO YOU KYOTO?」プロジェクト開催事業への広告掲出 (2/11~2/23)	14,100(0)
67	1. エコ生活の普及促進	「京都のまち」、「大学のまち」、「京都市のまち」における京都の特徴を踏まえる、学園祭などのイベントにおける京都市との協働など、学生の力を活用した取組を推進します。	人口の約1割に当たる学生が在籍する京都の特徴を踏まえる、学園祭などのイベントにおける京都市との協働など、学生の力を活用した取組を推進します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イ進捗状況	○大学学生を対象としたエコワークショップの開催。参加者30名 ○学生祭典KYO-SENSEプロジェクトへの支援 ○環境活動団体の取組支援	○検討 ※京都学生祭典への支援は ○実施	○学生祭典KYO-SENSEプロジェクトへの支援 ○環境活動団体の取組支援	13,800(0)
68	1. エコ生活の普及促進	エコを楽し格好よく	「エコを楽し格好よく」の普及推進	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イ進捗状況	○京都学生祭典への支援は ○実施	○京都学生祭典への支援を実施	○京都学生祭典への支援を実施	14,100(0)

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像4 環境にやさしいライフスタイル

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	ア進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
71	1. 工コ生 活の普及 促進	エコを学 ぶ	子どもへの環 境教育の推 進	■実施済み又は本 格実施中 子どもたちの夏休みや冬休みな どを利用して、家族ぐるみで「 地元エネに取り組んでからうに どもエコライフチャレンジ」や、 学校のエコスクール化などの 取組を通じて、将来を担う子 どもたちへの様々な環境教 育を推進します。	計画 イ進捗状況 ウチ算額(うち国)・千円 工事算額(うち国)・千円	○「どもエコライフチャレンジ」 全市立小学校にて実施中 2,124,700 20,511(0)	○「どもエコライフチャレンジ」 全市立小学校にて実施中 20,356(0) 19,904(0)	○「どもエコライフチャレンジ」 全市立小学校にて実施中 20,856(0)	○「どもエコライフチャレンジ」 全市立小学校にて実施中 22,356(0)	
72	1. 工コ生 活の普及 促進	エコを学 ぶ	総合環境情 報誌の作成・ 全戸配布	■実施済み又は本 格実施中 地球温暖対策の視点を盛り 込んだ総合環境情報誌を作 成し、全戸配布を行うことによ り、市民一人ひとりの意識 啓発を図ります。	計画 イ進捗状況 ウチ算額(うち国)・千円 工事算額(うち国)・千円	○「京都ごみ減量・分別ハンドブック 保存版」に係る旨記載版を市民しんぶん区 版へ挟み込み、全戸配布を実施。(3 月)3,550(0)	○「京都ごみ減量・分別ハンドブック保 存版」を全戸配布済み 2,889(0)	○「京都ごみ減量・分別ハンドブック保 存版」を全戸配布済み 3,550(0)	○「京都ごみ減量・分別ハンドブック保 存版」を全戸配布済み 3,550(0)	○「京都ごみ減量・分別ハンドブック保 存版」を全戸配布済み 3,550(0)
73	1. 工コ生 活の普及 促進	エコを学 ぶ	京エコロジ ーセンターを中 心とする工コ 学習の展開 と人材育成	■実施済み又は本 格実施中 エコロジーセンターを中心とし てエコ学習を展開することによ り、地球温暖化対策に対する 意識の向上を図ります。また、 京エコロジーセンターのボ ランティア活動を通して、環 境問題に主体的に取り組む 市民を育てていきます。	計画 イ進捗状況 ウチ算額(うち国)・千円 工事算額(うち国)・千円	○平成23年度以前から実施 ト55、エコサポーター81名 158,372(0)の一部 158,372(0)の一部	○平成23年度以前から実施 ト51、エコマイスター94名 158,372(0)の一部 158,372(0)の一部	149,338(0)の一部 149,338(0)の一部	148,338(0)の一部 149,338(0)の一部	152,577(0)の一部 152,577(0)の一部
74	2. 地域コ ミュニティ 活動の推進	地域ぐる みのエコ 活動	エコ学区、工 コ商店街、工 コ大学など新 たな「エコ・コ ミュニティ」の 創設	■実施済み又は本 格実施中 地域活動の基本単位である 学区や商店街を対象に、地 球温暖化対策を地ぐるみ で集中的に取り組む「エコ・コ ミュニティ」を新たに創設する とともに、京都府市の人口の約 1割に相当する学生の力を活 用した温室効果ガス排出量 削減の取組を推進します。	計画 イ進捗状況 ウチ算額(うち国)・千円 工事算額(うち国)・千円	○各区支所管内で1箇所ずつ計14箇 所のエコ学区を認定(7月) ○くらしの匠事業 2学区実施 ○うちエコ診断事業 5学区実施 ○地域実験事業 7学区実施 29,300(0) 25,487(0)	○情報交流会の開催(6月) ○くらしの匠事業 2学区実施 ○うちエコ診断事業 5学区実施 ○地域実験事業 7学区実施 29,300(0) 26,893(0)	○エコ学区数 163学区 うちエコ診断、くらしの匠、学習会実施 44,100(0)	38,800(0)	38,800(0)

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像4 環境にやさしいライフスタイル

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
75	2. 地域コミュニティにおける工コ活動の推進	各区分における工コ活動支援事業の推進	■実施済み又は本格実施中	○各区環境パートナーシップ事業など ○各区分からの事業提案を審査し、助成金を令達(5月) ○市民活動団体と区役所が協働して事業を実施(5月～3月)	イ進捗状況 ○各区環境パートナーシップ事業など ○各区分からの事業提案を審査し、助成金を令達(4月) ○市民活動団体と区役所が協働して事業を実施(4月～)	○各区環境パートナーシップ事業など ○各区分からの事業提案を審査し、助成金を令達(4月～3月)	○各区環境パートナーシップ事業など ○各区分からの事業提案を審査し、助成金を令達(4月～3月)	○各区環境パートナーシップ事業など ○各区分からの事業提案を審査し、助成金を令達(4月～3月)	○各区環境パートナーシップ事業など ○各区分からの事業提案を審査し、助成金を令達(4月～3月)
76	3. 環境に配慮した住宅の普及促進	既存住宅における省エネ推進 住宅の低炭素化の推進	■実施済み又は本格実施中	○自ら居住する住宅のエコリフォームを行なう費用について、金融機関に連携して、低利率で融資をあつせんするなど、既存住宅を対象に、省エネ改修に対する支援の拡大を検討します。	イ進捗状況 ○実施済み又は本格実施中 ○エコリフォーム融資の創設及び受付開始(4月～) ○融資件数:17件	○検討 ○実施済み又は本格実施中 ○京都府との協調により、融資件数の拡大、融資限度額の増額、融資利率の通年固定化、対象使途の拡大(4月～) ○融資件数:68件	○検討 ○実施済み又は本格実施中 ○エコリフォーム融資の創設及び受付開始(4月～) ○融資件数:17件	○検討 ○実施済み又は本格実施中 ○エコリフォーム融資の実施(4月～) ○融資件数:47件	○既存住宅の省エネリフォーム等支援事業 142,400(54,000)
77	3. 環境に配慮した住宅の普及促進	既存住宅における省エネ改修の推進 住宅の低炭素化の推進	■実施済み又は本格実施中	○住宅の省エネ改修について、技術的なアドバイスを行なう人材を養成するとともに、京都らしい環境配慮の方策も含め、市民が安心して住宅の省エネ改修に関する技術的な相談を行える環境を整備します。	イ進捗状況 ○企画構想段階 □着手前	○企画構想段階 □着手前	○企画構想段階 □着手前	○企画構想段階 □着手前	○企画構想段階 □着手前

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
78	3. 環境に配慮した住宅の普及促進	エネルギー使用量の見える化の推進	省エネの専門家が専用のツールを用いて、各家庭の二酸化炭素排出が沼を「見えなもの」に対応して家庭の実態を用いて、各家庭の二酸化炭素を「見えない」削減余地の大さいさを把握するため、削減余地に対する施策の実行を図るなど、各家庭の様々なライフスタイルに応じたオーダーメードの政策を実施し、確実な二酸化炭素削減を図ります。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画	○検討 ※環境家計簿はインターネット版	版で継続実施	○実施	0
79	3. 環境に配慮した住宅の普及促進	エネルギー使用量の見える化の推進	現在、エアコン・電気冷蔵庫・テレビ・蛍光灯照明器具・電気便座等の種類の省エネ製品を対象とした省エネラベル制度の拡充を検討します。	□実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 ■着手前	計画 検討中	○検討 ○対象の拡大	○国の省エネラベル制度(8種)等の普及・啓発	○国が実施する省エネラベル制度(8種)等の普及・啓発	0
80	3. 環境に配慮した住宅の普及促進	エネルギー使用量の見える化の推進	既存住宅の環境配慮性の実態を表示する制度の検討	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 検討	○検討※CASBEE京都と住宅性能評価制度との整合を図る	○実施	○京のアジェンダ21フォーラムにおいて、勉強会を開催	0
						○京のアジェンダ21フォーラムににおいて、勉強会を開催 ○平成24年度からCASBEE京都(戸建・既存)を開始	○京のアジェンダ21フォーラムににおいて、勉強会を開催 ○平成24年度からCASBEE京都(戸建・既存)を開始	○京のアジェンダ21フォーラムににおいて、勉強会を開催 ○平成24年度からCASBEE京都(戸建・既存)を開始	0

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像5 環境にやさしい経済活動

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	ア進捗区分	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
81	1. 環境 産業の振 興	京都市府・市・経済界の枠組を超えた、「オール京都」による体制を構築し、環境、医療・健康、映画・コマースなどを担う成長産業の育成を図ります。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	○「京都産業育成コンソーシアム」の設立 ○「京都産業育成コンソーシアム」事務局の開設(4月) ○「きょうと産業人材育成情報サイト」を開設(7月) ○「知惠産業支援施設ガイド」を開設(8月) ○「人材育成・活用セミナー」(11月) 「知惠産業推進セミナー」(1月)を実施	イ進捗状況 イ進捗状況	○共同プロジェクトの実施など ○「Kyoto Japan」ロゴマーク登録事業者募集開始(5月) ○京都産業エコ・エネルギー推進機構設立(7月) ○知恵産業創造支援事業審査委員会運営(8月) ○京都・企業お役立ちナビの開設(8月) ○京都産業エコ・エネルギー戦略部会設立(7月) ○機器活用オープンデイ(8月)、活用機器見学会(8月、3月) ○機器活用HP開設(10月) ○「知恵ビジネスメッセ」(京都商工会議所主催)を共催(11月)	4,000(0) 4,000(0)	4,000(0) 4,000(0)	4,000(0)
82	1. 環境 産業の振 興	研究結果を生かした環境・エネルギー開発連携による環境技術の開発	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	「環境ナノテク」プロジェクトを実施に取り組んできた京都環境ナノクラスター事業の成果を生かし、ペンチャヤー企業の創出や技術移転による事業化の促進を進めます。	イ進捗状況 イ進捗状況	○現在の研究成績の課題と今後の方針性を検討(4月～3月) ○平成20～24年度の事業期間において、目標とする75億円を上回る売上高104.6億円を達成。 ○革新的SiCハーフ二導体の社会実装の促進を目指す「クリーン・低環境負荷実現、高耐久・高耐熱性を持つ化合物半導体製造外線センサの開発システムの構築」をJST公募事業の「スーパークラスタープログラム」に申請し、平成25年12月から事業開始	2,800(0) 2,800(0)	2,800(0) 2,800(0)	2,194(3) (182,523)
83	1. 環境 産業の振 興	付加価値の高い新産業を創造する京都版SBIの推進	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	新技术・新製品開発に取り組む市内中小事業者や中小・ベンチャー企業の新技術を利用した事業活動を支援するため、京都の地域プラットフォーム支援体制の強みを生かした研究開発段階から販路開拓までを一貫して支援する仕組み(Small Business Innovation Research)を推進します。	イ進捗状況 イ進捗状況	○研究開発補助事業:5件採択(6月) ○新事業・事業展開可能性調査事業:3件採択(6月) ○ベンチャーエンジニアリング認定8社(9月、3月) ○オスカースタートアップ審査委員会:認定8社(9月、2月) ○実施	129,147(0) 124,248(0)	124,284(0) 120,998(0)	102,073(0)

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像5 環境にやさしい経済活動

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
84	1. 環境・産業の振興・育成	事業拡大支援	低炭素社会の実現に先導的な役割を果たす京都の環境・エネルギー関連産業の事業拡大支援と産業のブランド化のプロモーション	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イ進捗状況 ○調査委託業者の選定に向けた事業内容検討(4月～) ○委託業務受託業者選定による委託契約締結(11月) ○試行アンケート実施・環境産業マップ作成・委託業務完了(3月) ○平成25年度「京都エコスタイル製品」10件を認定(3月)	○調査 実態把握 ○プロモーション	○京都企業グリーンノベーション市場参入支援事業:8件採択(8月) ○グリーン産業創出調査事業委託事業者決定(7月) ○市・府・経済界で設立した「京都産業エコ・エネルギー推進機構」において、環境保全に係る製品開発等に対する補助事業の実施 ○平成25年度「京都エコスタイル製品」10件を認定(3月)	○京都企業グリーンノベーション市場参入支援事業:8件採択(8月) ○グリーン産業創出調査事業委託事業者決定(7月) ○市・府・経済界で設立した「京都産業エコ・エネルギー推進機構」において、環境保全に係る製品開発等に対する補助事業の実施 ○平成25年度「京都エコスタイル製品」10件を認定(3月)	○京都企業グリーンノベーション市場参入支援事業:8件採択(8月) ○グリーン産業創出調査事業委託事業者決定(7月) ○市・府・経済界で設立した「京都産業エコ・エネルギー推進機構」において、環境保全に係る製品開発等に対する補助事業の実施 ○平成25年度「京都エコスタイル製品」10件を認定(3月)
85	1. 環境・産業の振興・育成	事業拡大支援	カーボン・プリントの活用による環境の見える化と低炭素商品の普及化の促進	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イ進捗状況 ○調査 ○検討 ○実施	○カーボン・プリントの活用による環境価値の見える化と低炭素商品の普及化と促進について検討	○カーボン・プリントの活用による環境価値の見える化と低炭素商品の普及化と促進について検討	○カーボン・プリントの活用による環境価値の見える化と低炭素商品の普及化と促進について検討	○カーボン・プリントの活用による環境価値の見える化と低炭素商品の普及化と促進について検討
86	1. 環境・産業の振興・育成	事業拡大支援	グリーン購入の促進	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イ進捗状況 ○調査 ○検討 ○実施	○市役所本庁舎、区役所を中心としたグリーン購入の実施(4月～) ○市役所本庁舎、区役所を中心としたグリーン購入の実施(4月～)	○市役所本庁舎、区役所を中心としたグリーン購入の実施(4月～) ○市役所本庁舎、区役所を中心としたグリーン購入の実施(4月～)	○市役所本庁舎、区役所を中心としたグリーン購入の実施(4月～) ○市役所本庁舎、区役所を中心としたグリーン購入の実施(4月～)	○市役所本庁舎、区役所を中心としたグリーン購入の実施(4月～)
87	2. 企業における低炭素化の促進	中小事業者における低炭素化の促進	中小事業者の地球温暖化対策と省エネによる省エネルギー機器強化を実現する高効率機器の導入に対する補助を行います。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イ進捗状況 ○計画 ○実施	○省エネ・節電診断の提案に基づいた省エネ設備導入を実施する事業者を対象に、設備導入費用の一部を助成 ・省エネ設備整備事業補助金:8件 ・地域グリーンユーディール基金活用補助金:4件 ○事業所・工場に専門家を無料で派遣し、設備の運転状況の確認、データ計測・分析による改善提案等を行う。(省エネ・節電診断:44件)	○省エネ・節電診断の提案に基づいた省エネ設備導入を実施する事業者を対象に、設備導入費用の一部を助成 ・省エネ設備整備事業補助金:8件 ・地域グリーンユーディール基金活用補助金:4件 ○事業所・工場に専門家を無料で派遣し、設備の運転状況の確認、データ計測・分析による改善提案等を行う。(省エネ・節電診断:44件)	○省エネ・節電診断の提案に基づいた省エネ設備導入を実施する事業者を対象に、設備導入費用の一部を助成 ・省エネ設備整備事業補助金:8件 ・地域グリーンユーディール基金活用補助金:4件 ○事業所・工場に専門家を無料で派遣し、設備の運転状況の確認、データ計測・分析による改善提案等を行う。(省エネ・節電診断:44件)	○省エネ・節電診断の提案に基づいた省エネ設備導入を実施する事業者を対象に、設備導入費用の一部を助成 ・省エネ設備整備事業補助金:8件 ・地域グリーンユーディール基金活用補助金:4件 ○事業所・工場に専門家を無料で派遣し、設備の運転状況の確認、データ計測・分析による改善提案等を行う。(省エネ・節電診断:44件)

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像5 環境にやさしい経済活動

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)	
88	2. 企業における低炭素化の促進	中小事業者における低炭素化の促進	環境配慮活動による低利融資制度の促進	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イ進捗状況 ○環境保全資金融資制度 融資の受付(4月～) ○環境修善促進金利優遇制度の実施(4月～) ○融資実績:2件(継続)	○環境保全資金融資制度 融資の受付(4月～) ○融資実績:1件(継続)	○実施	○実施	○実施	
89	2. 企業における低炭素化の促進	中小事業者における低炭素化の促進	低炭素型経済活動による人材育成と助言・診断の仕組みの充実	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イ進捗状況 ○環境マネジメントシステムの取組を促進するアドバイザーの派遣や、低炭素型経済活動を推進する人材の育成と助言・診断の仕組みの充実による低炭素化の促進	○市内の中小事業者を対象に省エネアドバイザーを派遣し、事業者が抱える潜伏的な省エネギーや節電の課題を明らかにするとともに、その問題の改善策を提案するアドバイスを実施(72件)。 ○市内の中小事業者を対象に省エネ及び節電に関する専門的な知識を有したコンサルタント事業者を派遣し、エネルギー使用の改善策を提案する。(30件)	○省エネ・節電アドバイザーが主に民事務部事業所を訪問し、事業所に応じた最適なアドバイスを行うことと、事業者にも「きづかわ制度等についての情報提供を実施。(37件)。 ○事業所・工場に専門家を無料で派遣し、設備の運転状況の確認、データ測定・分析による改善提案等を行う。(省エネ・節電診断:44件)	62,940(0) 7,300(0)	63,809(0) 5,600(0)	41,696(0) 4,791
90	2. 企業における低炭素化の促進	中小事業者における低炭素化の促進	ノンフロン製品の普及促進	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イ進捗状況 ○効力な温室効果ガスである強力な温室効果ガスとして使用代替品フロンを冷媒として使用しない業務用冷蔵・冷凍機器など、低炭素化につながる機器の優先導入に関する普及啓発を図ります。	○市内の中小事業者を対象に省エネアドバイザーを派遣し、事業者が抱える潜伏的な省エネギーや節電の課題を明らかにするとともに、その問題の改善策を有したコンサルタント事業者を派遣するセミナーを開催(12/8木) 受講者数:28名	○省エネ・節電アドバイザーが主に民事務部事業所を訪問し、事業所に応じた最適なアドバイスを行うことと、事業者にも「きづかわ制度等についての情報提供を実施(72件)。 ○市内の中小事業者を対象に省エネ及び節電に関する専門的な知識を有したコンサルタント事業者を派遣し、エネルギー使用の改善策を提案する。(30件)	9,243(0) 8,834(0)	9,228(0) 8,227(0)	6,500(0) 6,500(0)
91	2. 企業における低炭素化の促進	中小事業者における低炭素化の促進	大規模事業者における低炭素化の促進	イ進捗状況 ○実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イ進捗状況 ○実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イ進捗状況 ○実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イ進捗状況 ○義務制度の開始 ・事業者排出量削減計画書の受理(～9月)、エネルギー削減対策の取組内容、低炭素型社会の形成に貢献する製品サービスの供給など、事業活動を組合的に評価し、自ら取組を組合的に評価し、自ら評価する指標等を指導・助言(15件、3月)	平成23年度の温室効果ガス排出実績を示す事業者排出量削減報告書を受理(平成23年度の目標値約181万トン(特定事業者149者の合計)に対し、約176万トンの実績)	7,500(0) 5,803(0)	7,700(0) 7,300(0)
								事業者排出量削減計画書制度 5,803(0)	事業者排出量削減計画書制度 7,300(0)	

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像5 環境にやさしい経済活動

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
92	2. 企業における低炭素化の促進	大規模事業者における低炭素化の促進	環境マネジメントシステムの導入義務化	■実施済み又は本格実施中 ・事業活動の低炭素化に対して、事業組を強めに促すため、環境マネジメントシステムの導入義務化します。	イ進捗状況 ・事業者排出量削減計画書制度の導入状況を示す環境マネジメントシステム導入報告書を受理するところを促進	○義務制度の開始 ・事業者排出量削減計画書制度の計画期間中(平成23～25年度)にEMSを取得するところを促進	平成23年度の環境マネジメントシステムの導入状況を示す環境マネジメントシステム導入報告書を受理するところを促進	平成24年度の環境マネジメントシステムの導入状況を示す環境マネジメントシステム導入報告書を受理するところを促進	平成24年度の環境マネジメントシステムの導入状況を示す環境マネジメントシステム導入報告書を受理するところを促進
93	3. 環境価値の創出・循環	環境価値の創出・循環	環境に配慮した観光の推進	■実施済み又は本格実施中 ・京都において創出された京都観光にジットを活用し、京都観光に伴う温室効果ガス排出量の一部をオフセットする低炭素の自然環境・歴史文化を学び、体験する、歩いて巡る観光の推進や、環境に配慮したサービス、施設の促進などの普及を図ります。	イ進捗状況 ・企画構想段階 □着手前	○「DO YOU KYOTO?」制度の創設(8月) ○クレジット認証を実施(2月～3月)	○「DO YOU KYOTO?」制度の導入(12月～3月) ○カーボン・オフセット付き観光支援スマートアプリ「京都まちあるき観光Nav」の展開(12月～3月)	○カーボン・オフセット付き観光旅行プランの提供(12月～3月) ○カーボン・オフセット付き観光支援スマートアプリ「京都まちあるき観光Nav」の展開(12月～3月)	○カーボン・オフセット付き観光旅行プランの提供(7月～9月、1月～3月)
94	3. 環境価値の創出・循環	環境価値の創出・循環	会議イベントにおけるカーボン・オフセットの推進	■実施済み又は本格実施中 ・京都において創出された京都ジットを活用し、地域で開催される会議やイベントに伴う温室効果ガス排出量の一部をオフセットする低炭素イベントの普及を図ります。	イ進捗状況 ・企画構想段階 □着手前	○「DO YOU KYOTO?」制度の創設(8月) ○クレジット認証を実施(2月～3月)	○京都一周トレーリルマップの作成・販売、道標の整備、コースの維持補修(4月～) ※英語版ダイジェストコースマップの作成・販売(11月)	○京都一周トレーリルマップの作成・販売、道標の整備、コースの維持補修(4月～) ※全コースマップの日英併記化を完了(9月)	○京都一周トレーリルマップの作成・販売、道標の整備、コースの維持補修(4月～) ※英語版ダイジェストコースマップの作成・販売(11月)
95	3. 環境価値の創出・循環	環境価値の創出・循環	京都市役所におけるエネルギー管理を徹底し、事業部門別の温室効果ガス排出量の環境配慮推進制度の創設	■実施済み又は本格実施中 ・京都市役所におけるエネルギー管理を徹底し、事業部門別の温室効果ガス排出量の環境配慮推進制度の創設	イ進捗状況 ・企画構想段階 □着手前	○エネルギー使用量の詳細把握、制度検討	○京都サンガC.ホームゲーム(1試合)、東京五重奏ライブ・アップ、京都マラソン(3月10日)等のイベントをカーボン・オフセットで実施	○京都サンガC.ホームゲーム(5月26日等11試合)、KRP-WEEK(7月28日～8月4日)、京都マラソン(3月10日)等のイベントをカーボン・オフセットで実施	○京都サンガC.ホームゲーム(19試合)、東京五重奏ライブ・アップ、京都マラソン(3月10日)等のイベントをカーボン・オフセットで実施

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像6 ごみの減量

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
96	1. そもそもごみを出さない	すぐにならぬごみを「買わない」	市民、事業者など連携した本格的なレジ袋削減の取組を全市展開します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国・千円) 工決算額(うち国・千円)	○実施 ○レジ袋削減・バトルディスカッションの開催(10月) ○包装材の少ない売場を試行する「エコストア実験」を実施(2月～3月) ○包装材が少ないお買い物の新聞広告(3月)		平成24年度をもつて事業終了	
97	1. そもそもごみを出さない	すぐにならぬごみを「買わない」	レジ袋の使用を抑制し、マイバッグなどの持参を促進する、市民団体などとの協定の締結をさらに拡大し、レジ袋の大幅な削減を図ります。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国・千円) 工決算額(うち国・千円)	○実施 ○第6回レジ袋削減協定の締結(9月) ○第7回レジ袋削減協定の締結(6月)	0	0	0
98	1. そもそもごみを出さない	すぐにならぬごみを「買わない」	はかり売りやはだか売り、対面販売といった販売方法や、商店街の特徴を活用したごみ減量などの取組を推進します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	計画 イ進捗状況 ウ予算額(うち国・千円) 工決算額(うち国・千円)	○出町商店街におけるエコスタンプ事業(通常) ○北野商店街での「きたの夏まつり」での啓発活動(7月28日)、エコチケット事業(1月～)、エコチケットキャンペーン(3月) ○出町商店街におけるエコスタンプ事業(通常) ○北野商店街におけるエコチケットキャンペーン(7.11.2月)	0	0	0

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像6 ごみの減量

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
99	1. そもそもごみを出さない	事業所などから出るごみを減らす	事業者収集ごみの透明袋制の導入	■実施済み又は本格実施中 ○透明袋以外のごみを排出するため、京都市のごみ処理施設に搬入されるごみを対象に、民営業者（一般废弃物許可業者）が収集するごみ袋を透明袋に限定する制度を導入します。	イ進捗状況 □企画構想段階 □着手前	○透明袋以外のごみを排出した事業所への指導を実施 ○透明袋以外のごみに警告シールを貼付し、収集しないよう許可業者に指示 ○クリーンセンターにおける展開調査を実施（3月末現在、展開調査18回実施）	○透明袋以外のごみを排出した事業所への指導を実施 ○透明袋以外のごみに警告シールを貼付し、収集しないよう許可業者に指示 ○クリーンセンターにおける展開調査を実施（展開調査14回及び簡易目視調査9回実施）	○透明袋以外のごみを排出した事業所への指導を実施 ○透明袋以外のごみに警告シールを貼付し、収集しないよう許可業者に指示 ○クリーンセンターにおける展開調査を実施（展開調査14回及び簡易目視調査30回実施）	事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 15,123(千円)の一部
100	1. そもそもごみを出さない	事業所などから出るごみを減らす	チーンストアなどへの事業系废弃物の減量計画の策定事業者の減量計画制度の対象拡大	■実施済み又は本格実施中 ○実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イ進捗状況 ○着手前	○対象となる食品関連事業者（43事業者838事業所）から提出された減量計画書に基づき、立入調査による減量指導を実施（3月末現在19事業者を訪問）	○対象となる食品関連事業者（43事業者896事業所）から提出された減量計画書に基づき、立入調査による減量指導を実施（23事業者を訪問）	○対象となる食品関連事業者（43事業者841事業所）から提出された減量計画書に基づき、立入調査による減量指導を実施（23事業者を訪問）	事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 17,340(千円)の一部
101	1. そもそもごみを出さない	事業所などから出るごみを減らす	事業者収集ごみ処分手数料の改定	■実施済み又は本格実施中 ○実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イ進捗状況 ○着手前	○ごみの減量や再資源化を促すため、ごみ処分手数料の段階的引き上げを進めます。	○800円/100kgに引き上げ（4月～）	○800円/100kg実施中 ○1,000円/100kgへの改定（平成26年4月～）に向けて、市内事業者に対する周知啓発を実施	事業ごみ減量、分別、リサイクル対策 17,340(千円)の一部

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像6 ごみの減量

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
102	2. ごみは徹底した資源、可分別によるリサイクルの推進	業種別きめ細かい取組方法などによる事業者向けの情報提供の推進	■実施済み又は本格実施中	○事業用大規模建築物への立入調査による減量指導を実施(3月末現在1,397件)○分別啓発ペシフレットを活用した啓発を実施○三条会商店街においてワークショップを実施(第1回9月、第2回:11月、第3回:3月)○事業ごみ減量ニユースレター「ごみゆにけーしょん」を定期的に発行(4回7,9,11,11月発行)	イ進捗状況	○事業用大規模建築物への立入調査による減量指導を実施(2,025件)○事業ごみ減量ニユースレター「ごみゆにけーしょん」を定期的に発行(5回7,9,11,1月発行)	○事業用大規模建築物への立入調査による減量指導を実施(1,257件)○事業ごみ減量ニユースレター「ごみゆにけーしょん」を定期的に発行(5回)	○事業ごみ減量、分別、リサイクル対策事業ごみ減量、分別、リサイクル対策事業ごみ減量、分別、リサイクル対策事業ごみ減量、分別、リサイクル対策	15,123(千円)の一部
103	2. ごみは徹底した資源、可分別によるリサイクルの推進	クリーンセンターにおける搬入監視体制の強化と未分別資源ごみ及び不適物の受入拒否を実施	■実施済み又は本格実施中	クリーンセンターにおいて搬入監視を強化するとともに、分別できていない資源ごみ及び不適物の受入拒否を実施します。	イ進捗状況	○月2回以上の頻度で許可業者や市民持込ごみの展開調査を実施した	○月2回以上の頻度で許可業者や市民持込ごみの展開調査を実施した	○月2回以上の頻度で許可業者や市民持込ごみの展開調査を実施した	0
104	2. ごみは徹底した資源、可分別によるリサイクルの推進	使用済てんぶら油などの回収拠点拡大	■実施済み又は本格実施中	バイオディーゼル燃料の原料となる使用済てんぶら油の回収拠点拠点を図ります。	イ進捗状況	○使用済てんぶら油の回収拠点の拡大1,647拠点	○使用済てんぶら油の回収拠点の拡大1,686拠点	○使用済てんぶら油の回収拠点の拡大1,759拠点	0
105	2. ごみは地域力を生かした多様な資源物回収拠点拡大の推進	多様な資源物回収拠点拡大	■実施済み又は本格実施中	土・日も開放する「より近い・より便利な」常設の資源物回収拠点・拡大、公的施設や商業施設における共施設や専門施設回収に小型家電や携帯電話などのリサイクルの推進を図ります。	イ進捗状況	○資源物回収拠点数(てんぶら油、革管など3品目以上の資源物を回収する拠点)110拠点○小型家電34品目回収拠点47拠点	○資源物回収拠点数(てんぶら油、革管など3品目以上の資源物を回収する拠点)117拠点○小型家電34品目回収拠点46拠点	○資源物回収拠点数(てんぶら油、革管など3品目以上の資源物を回収する拠点)120拠点○小型家電34品目回収拠点46拠点	30,500(0)

京都市地球温暖化対策計画に掲げる取組の進捗状況

社会像6 ごみの減量

整理No	方針	施策	取組	取組概要	ア進捗区分	平成23(2011)	平成24(2012)	平成25(2013)	平成26(2014)
106	2. ごみは地域力を生かした地域密着型の取組の推進	農家と連携した生ごみの堆肥化による地産地消のモーテル地域の落ち葉、家庭からの生ごみなどの地域単位での堆肥化を促進します。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	○生ごみの堆肥化支援 京北宇津地域(3月～)、京北山国地域(21年2月～) ※その他、2地域で協議中	イ進捗状況 ○実施	○生ごみの堆肥化支援 新規:深草地域(6月～)、京北黒田地域(12月～)、大原地域(12月～), 大原地域(2月～), 脇存・2地域※その他、2地域で協議中	○生ごみの堆肥化支援 6地域で継続	○生ごみの堆肥化支援 6地域で継続	○生ごみの堆肥化支援 6地域で継続
107	2. ごみは資源、可能な限りサイクル	「学生のまち、観光のまち」実施要綱によるイベントなどのエコ化を推進することにより、次世代を担う若者を中心とした異なる環境意識の向上を図ります。	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	イベントグリーン要綱に基づき、学園祭や地域のイベントなどのエコ化を推進することにより、次世代を担う若者を中心とした異なる環境意識の向上を図ります。	イ進捗状況 ○実施	○京都市認定エコイベント登録の受付 (4月～3月) ○リユース食器助成金制度の運用(4月～3月) ○リユース食器お試しキャラバンの展開(7月～9月)	○京都市認定エコイベント登録の受付 (4月～3月) ○リユース食器助成金制度の運用(4月～3月) ○リユース食器お試しキャラバンの展開(7月～9月)	○京都市認定エコイベント登録の受付 (4月～3月) ○リユース食器助成金制度の運用(4月～3月) ○リユース食器お試しキャラバンの展開(7月～9月)	○京都市認定エコイベント登録の受付 (4月～3月) ○リユース食器助成金制度の運用(4月～3月) ○リユース食器お試しキャラバンの展開(7月～9月)
108	3. ごみは安全に処理して骨格の経済性を低減するごみの適正処理	環境負荷を低減するごみの適正処理	■実施済み又は本格実施中 □実施前最終段階 □企画構想段階 □着手前	ごみの減量に応じて現行の4工場体制のクリーンセンターを3工場とするなど、経済性に配慮した長寿命化計画に図ります。	イ進捗状況 ○実施	○長寿命化計画(施設保全計画)の策定中 ○長寿命化計画(施設保全計画)の策定中	○長寿命化計画(施設保全計画)の策定中 ○長寿命化計画(施設保全計画)の策定中	○長寿命化計画(施設保全計画)の策定中 ○長寿命化計画(施設保全計画)の策定中	○長寿命化計画(施設保全計画)の策定中 ○長寿命化計画(施設保全計画)の策定中